

# 特ラ機構レポート No.193

令和5年7月1日

令和5年 通常総会 報告	
令和5年通常総会 .....	2
第23回特ラ機構技術賞 表彰式 .....	5
イベント情報 .....	11
令和5年度情報通信月間 セミナー報告 .....	12
ちょっとブレイク .....	14
地上デジタル放送の高度化（4K・8K）に向けた 電波発射について ..	15
適格請求書発行事業者番号のお知らせ .....	16
事務局便り .....	17



## 令和5年「一般社団法人 特定ラジオマイク運用調整機構」通常総会 報告

令和5年6月9日(金)、東京都中野区の「中野サンプラザ」において、表記に関する各種議案を審議し、関連行事を実施した。その後、別会場にて懇親会を開催した。

### 1. 通常総会 14:00～15:30 (13階「スカイルーム」)

令和4年度事業報告, 同年収支決算ならびに監査報告

令和5年度事業計画(案), 同年収支予算(案)

令和5年度 新型コロナウイルス感染拡大防止のための自粛による会員への影響支援

理事の交代

出席者 23名

### 2. 技術賞表彰式 15:45～16:45 (13階「スカイルーム」)

出席者 63名

### 3. 懇親会 17:00～19:00 (グッドモーニングカフェ中野セントラルパーク)

出席者 57名

#### 1. 通常総会

司会の石川統括チーフから、総数 1,552 会員(令和5年3月31日現在)のうち出席者 23 会員、委任出席者 925 会員で定款第 21 条の通常総会開催のための議決権の過半数を有する正会員の出席があり、本通常総会は成立するとの報告があった。

#### 総会の議長選出

定款第 19 条により議長は渡邊理事長が担当した。

議長選出の後、議事録署名人 2 名の選出があり、岩井佳明理事と小野良行理事が議事録署名人となった。

#### 理事長挨拶

本日はお足元の悪い中、お集まり頂きありがとうございます。特ラ機構の令和5年の通常総会です。会場である「中野サンプラザ」は7月2日をもって閉館しますので、こちらでは最後の総会となります。総会後にこの場所で懇親会を開催したいと考えておりましたが、サンプラザ側の都合もあってそれはかなわず、別会場にて久しぶりの懇親会を開催することになりました。お時間の許す方は最後までお付き合いください。

特ラ機構の理事会が初めて「中野サンプラザ」で開催されたのは、平成 23 年 10 月のことです。また、総会は翌年の平成 24 年からになります。平成 24 年というのは、周波数移行の準備が始まった年でもあります。この頃は、特定ラジオマイクがこれから先どうなるのかという話題がもっぱら出ていましたが、それから 12 年が過ぎて、周波数移行もすっかり落ち着いています。特定ラジオマイクをさらに発展的に活用するため、TV ホワイトスペース帯・専用帯・1.2GHz 帯の電波の有効利用について、新しく考えていこうという動きも昨年度から少しずつはじまっています。

本日は、そんな折の令和5年総会になりますが、よろしくお願い致します。

## 第1号議案

### 令和4年度 事業報告

1. 会員数と特定ラジオマイク局数
2. 運用連絡・調整
3. 総務省・ARIB
4. 情報収集と調査研究
5. 事務局
6. 理事会・各委員会
7. 組織と管理

以上の主要項目の報告を石川統括チーフがおこなった。

### 令和5年 通常総会・技術賞表彰式 一般社団法人 特定ラジオマイク運用調整機構



議長を担当した渡邊理事長

### 令和4年度 収支決算報告並びに監査報告

収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書の内容については、木村事務局長が報告をおこなった。その後、伊藤博監事と國枝義久監事が監査報告をおこなった。

上記の第1号議案は異議なく承認された。

## 第2号議案

### 令和5年度 事業計画(案)

1. 会員数と所有する特定ラジオマイク局数
2. 運用連絡・調整
3. 総務省・ARIB
4. 情報収集と調査研究
5. 事務局
6. 理事会・各委員会
7. 組織と管理

以上の主要項目の報告を渡邊理事長がおこなった。

上記の第2号議案は異議なく承認された。

### 令和5年度 収支予算(案)

令和5年度収支予算(案)は松崎職員から報告された。

## 第3号議案

### 【令和5年度 新型コロナウイルス感染拡大防止のための自粛による会員への影響支援】

- ① 令和5年度の年会費・運用調整費を1ヶ月分減額する
- ② 令和5年度の年会費・運用調整費の納入期日を延長する
- ③ 納入額の分割納付

以上の内容について、木村事務局長から報告があった。

上記の第3号議案と令和5年度収支予算(案)は異議なく承認された

## 第4号議案

### 令和5年度 理事交替

新理事候補 株式会社共立 古藤 崇

以上の内容について、木村事務局長から報告があった。なお、本議案に一部訂正があったため、会場にて訂正版が配布された（下記参照）。

上記の第4号議案は異議なく承認された。

### 令和5年度 理事・監事の紹介

その後、令和5年度の理事会を担う理事・監事の紹介があり、総会は終了した。

#### 【訂正版】

### 第4号議案

#### 令和5年度 理事交替

令和4年度第6回理事会に下記の案が諮られ、審議の結果、決議された。

1. 現理事のおまたきみひろ小俣公洋から会社組織内での業務交替があったとの報告があり、それに伴い理事職も交替したい旨の報告を受けた。下記1名が新理事として令和4年度第6回理事会で審議され、推薦された。

新理事候補 株式会社共立 ことう たかし古藤 崇

定款第26条の定めにより、本総会の決議をもって新理事となる事を提案する。



総会は理事・監事・技術委員・23名の一般会員の出席にて開催された



## 第23回 特ラ機構技術賞 表彰式

令和5年6月9日(金) 15:45～16:45

第23回特ラ機構技術賞の表彰式について、中野サンプラザ 13階スカイルームで開催された。  
選考委員は以下の通り。

委員長：渡邊邦男（特ラ機構 理事長）  
委員：石橋 透（特ラ機構 理事 学識経験者）  
上田好生（特ラ機構 理事 新国立劇場）  
高山浩明（特ラ機構 賛助委員会委員(株) フォノフ）  
大野正夫（アドバイザー）  
武藤一郎（アドバイザー）  
渡辺聖尚（特ラ機構 事務局）  
以上の7名。



渡邊邦男委員長

応募受付を令和5年3月末にて締め切り、事務局にて応募作品のチェックをおこなった。また、委員の皆様には事前に作品をご覧いただき、令和5年4月26日(水) 14:00～ エス・シー・アライアンス Astにて最終選考をおこなった。

特ラ機構通常総会後に開催された技術賞表彰式では、技術賞委員会の渡邊邦男委員長が贈賞、インタビューをおこなった。

受賞作品は次項のとおり。

なお、各作品受賞者のコメントは特ラレポート 194号以降に順次掲載予定。



司会進行 小西事務局員



表彰盾

## 第 23 回 特ラ機構技術賞 受賞者一覧

### 【学生部門】

1. 奨励賞 京都芸術大学 芸術学部 舞台芸術学科 舞台デザインコース 13 期生  
東阪 京  
黒川 彩夏  
ミュージカル公演『FAME Jr.』
2. 銀賞 学校法人東放学園専門学校  
2022 年度ドラマ制作「ダイオプサイトへの導き」
3. 銀賞 日本大学芸術学部 映画学科 撮影録音コース 録音専攻  
土手 柚希  
「ふれる」

### 【一般部門】

4. 奨励賞 聖書キリスト教会 東京教会 江古田ゴスペルクワイア  
江古田ゴスペルクワイア  
「Christmas Concert 2022 Happy Birthday Jesus! ～愛が生まれた～」
5. 銀賞 株式会社ミスミグループ本社  
「ミスミグループ本社 移転に伴うデジタル方式  
微小出力、多チャンネル運用、電波環境保全に関する報告」
6. 銀賞 株式会社 NHK テクノロジーズ 「ひきこもり先生」音声チーム  
NHK 土曜ドラマ「ひきこもり先生シーズン2」



表彰式会場

7. 特別賞 矢野 正人  
「百花」  
「峠 最後のサムライ」
8. 金賞 劇団ヒラガナ ( )  
ミュージアム・ミュージカル 2022  
劇団ヒラガナ (伝) 第 51 回公演  
「映写機の向こうで。」  
～脚本家・水木洋子の旋律～
- 八幡賞 劇団ヒラガナ ( )  
ミュージアム・ミュージカル 2022  
劇団ヒラガナ (伝) 第 51 回公演  
「映写機の向こうで。」  
～脚本家・水木洋子の旋律～



八幡賞  
クリスタルトロフィー

## 【第 23 回 特ラ機構技術賞】

### 1. 学生部門 奨励賞

京都芸術大学 芸術学部 舞台芸術学科  
舞台デザインコース 13 期生  
東阪 京  
黒川 彩夏  
ミュージカル公演『FAME Jr.』

「このミュージカル公演は学んだことを具体的に表現するよい機会でした この初めての経験を糧にお二人の更なる成長を期待します」



京都芸術大学 芸術学部 舞台芸術学科  
黒川 彩夏さん (左) / 東阪 京さん (右)

### 2. 学生部門 銀賞

学校法人東放学園専門学校  
2022 年度ドラマ制作「ダイオプサイトへの導き」

「各セクションの講師指導による 6 ヶ月に及ぶドラマ制作は 学生達に貴重な経験を与えています 卒業後にこの成果を活かし更なる高みに飛躍することを期待します」

学生のみなさまは都合が合わずご欠席のため、同じく東放学園音響専門学校のキャリアサポートセンター加藤さんに代理でお受け取り頂きました。



東放学園専門学校キャリアサポートセンター  
加藤 諭さん (右)



### 3. 学生部門 銀賞

日本大学藝術学部 映画学科 撮影録音コース  
録音専攻  
土手 柚希  
「ふれる」

「脚本がよく、しっかりと構成されたこの作品は  
音声 映像とも技術レベルの高い作品でした。今  
後の活躍を期待しています」



日本大学藝術学部 映画学科 撮影録音  
コース 土手 柚希さん (右)

### 4. 一般部門 奨励賞

聖書キリスト教会 東京教会 江古田ゴスペルクワイア  
江古田ゴスペルクワイア  
「Christmas Concert 2022  
Happy Birthday Jesus!  
～愛が生まれた～」

「総勢 68 名全員がマスクを付け  
てのコーラスという 前代未聞の  
コンサートを成功させた努力を  
称えるとともに 今後の活動に期  
待します」



江古田ゴスペルクワイア  
栗野 めぐみさん (左)、  
山下 雅枝さん (右)



江古田ゴスペルクワイア  
長谷川 千洋さん

### 5. 一般部門 銀賞

株式会社ミスミグループ本社  
「ミスミグループ本社 移転に伴うデジタル方式  
微小出力、多チャンネル運用、電波環境保全に関する報告」

「本社移転に伴い『デジタル方式 TVWS チャンネルリストの利用効率向上』と  
固定会員としての『専用帯域の使用回避』をテーマに検討を重ねた結果  
1mW の低出力における安定した多チャンネル運用を可能にした技術力を讃えます」

今回、都合が合わずご出席頂けませんでした。



## 6. 一般部門 銀賞

株式会社 NHK テクノロジーズ

「ひきこもり先生」音声チーム

NHK 土曜ドラマ「ひきこもり先生シーズン2」

「見事な収録によるセリフの面白さとムードのおかしさは この作品の命であり それが映像にすばらしい効果を与えていた」

今回都合が合わずご欠席のため、株式会社 NHK テクノロジーズの大塚さんに代理でお受け取り頂きました。



株式会社 NHK テクノロジーズ  
大塚 豊さん

## 7. 一般部門 特別賞

矢野 正人

「百花」

「峠 最後のサムライ」

「ストーリー展開に沿うセリフの明快さや音の構成が それぞれの作品全体をしっかりと支えていた よってここに特別賞を贈ります」

今回、都合が合わずご出席頂けませんでした。

## 8. 一般部門 金賞

劇団ヒラガナ ( )

ミュージアム・ミュージカル 2022

劇団ヒラガナ (伝) 第 51 回公演

「映写機の向こうで。」

～脚本家・水木洋子の旋律～

「歌やセリフのバランスがよく 映像の記録映画的な構成も物語の世界に効果を与え 見事な作品を創りだしていた」



劇団ヒラガナ ( )  
渡部 裕美さん (左)、矢代 順さん (右)

## 八 幡 賞

劇団ヒラガナ（ ）

ミュージアム・ミュージカル 2022

劇団ヒラガナ（伝）第 51 回公演

「映写機の向こうで。」

～脚本家・水木洋子の旋律～

業界発展のためにご尽力され、令和 3 年 2 月 25

日に亡くなられた八幡泰彦名誉会長を顕彰して

設定された賞。その年の特に優れた作品に贈呈

し、今年で 9 回目となる。劇団ヒラガナ（ ）

渡部さんに渡邊委員長からクリスタルトロフィーが手渡された。



劇団ヒラガナ（ ）

渡部 裕美さん（中）、矢代 順さん（右）

最後に、受賞者全員で記念撮影をし、渡邊委員長の締めめの挨拶にて第 23 回特ラ機構技術賞表彰式はお開きとなった。

表彰式の後には、場所を変えて懇親会が開催された。4 年ぶりの開催ということもあって盛り上がり、とても有意義な会となった。



第 23 回特ラ機構技術賞受賞者のみなさん

## イベント情報

初夏の便りと共に、運用連絡がコロナ禍前の連絡数を超えるようになって参りました。

また展示会やイベント等の関係では 1.2GHz 帯の運用と TVWS 帯の運用が偏るケースが多く見受けられます。1.2GHz 帯が混雑していても TVWS 帯に余裕がある場合もありますので、ご不明な時はお気軽に事務局までお問い合わせ下さい。

日 程	展 示 会 名	会 場
7 月 12 日～ 14 日	★ FOODEX JAPAN IN 大阪	インテックス大阪
7 月 20 日～ 21 日	★リテールテック大阪 2023	インテックス大阪
8 月 19 日～ 20 日	★ SUMMER SONIC 2023	東京・大阪
9 月 21 日～ 24 日	★東京ゲームショウ 2023	幕張メッセ
10 月 26 日～ 11 月 5 日	★ JAPAN MOBILITY SHOW 2023	東京ビッグサイト

★：複数会員社による同時使用実績あり

## ♪ ルールを守って クリアな運用 ♪

### ちょっとブレイク原稿大募集！

皆様からの原稿をお待ちしております！今ハマっていること、お仕事のこと、大好きなアーティストのこと、ご当地自慢などなど・・・お題は自由です。

お名前を出したくない場合はペンネームでも OK です。

レポートに掲載させていただいた方には、些少ですが謝礼を差し上げております。

まずは下記アドレスまでお気軽にお問い合わせください。

**Email : [office@radiomic.org](mailto:office@radiomic.org)**





## 令和5年度情報通信月間 セミナー報告

令和5年度情報通信月間は『デジタル化、変えよう「くらし」と「仕事」の仕組み』をテーマに、5月15日(月)～6月15日(木)の期間、開催されました。当機構もその一環として“ルールを守って、クリアな運用”を旗印に、公益社団法人日本舞台音響家協会、シュア・ジャパン株式会社との共催でセミナーをおこないました。

### 『舞台音響家が知るべき、ワイヤレスマイクの電波と運用の知識』

日時：令和5年5月25日(木) 10:00～18:00

会場：かつしかシンフォニーヒルズ モーツァルトホール

共催：公益社団法人 日本舞台音響家協会

一般社団法人 特定ラジオマイク運用調整機構

シュア・ジャパン株式会社

協賛：情報通信月間推進協議会

講師：石丸耕一氏（日本舞台音響家協会）、甲田乃次氏（特ラ機構）、  
井上直行氏（シュア・ジャパン）、山上耕平氏（シュア・ジャパン）、  
杉岡桃氏（シュア・ジャパン）

午前の部は、シュア・ジャパン株式会社によるワイヤレスシステムの基礎セミナーがおこなわれ、現場でのトラブルを防ぐためのワイヤレスマイク運用、周波数管理ソフトウェア Wireless Workbench6 の機能解説や周波数プラン作成、干渉パターンや回避例を中心とした講習内容となりました。

午後の部のセミナー『ワイヤレスマイク運用に必要な電波の基礎』では当機構の甲田テクニカルチーフが講師を務め、特定ラジオマイクの各周波数帯について、運用形態や注意点、運用連絡及び運用調整の必要性や仕組み等について解説しました。

日本舞台音響家協会副理事長の石丸氏による講義『ワイヤレスで実現する舞台芸術 - 空間を收音するということ -』では、ワイヤレスマイクの装着例、舞台装置へのマイクの仕込みやプラグオン送信機の活用、バッテリー内蔵パワードスピーカーによる演出例等が紹介され、様々な舞台演出



解説をおこなう甲田テクニカルチーフ

に柔軟に対応するための工夫についてデモンストレーションや現場での実例を交えながら解説されました。

セミナーの最後にはネットワーキングの時間が設けられ、セミナー講師や会場スタッフとの質疑応答・情報交換が活発におこなわれました。参加者の皆様には、セミナー内で解説された機材にも触れて頂きました。



解説をおこなう石丸氏



ネットワーキングの様子

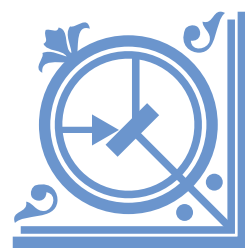


今回のセミナー参加者は 148 名でした。

ご参加頂きました皆様、ありがとうございました。

※セミナー内での当機構による講義『ワイヤレスマイク運用に必要な電波の基礎』につきましては、特ラ機構の Web サイトに講義資料を掲載しています。

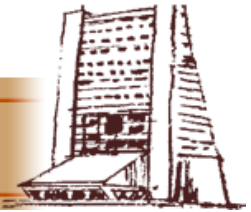
<https://www.radiomic.org/>





ちょっとブレイク

## 2023年7月2日(日) 中野サンプラザ閉館 — 50年の歴史幕閉じる —



1973年6月1日「全国勤労青少年会館」としてオープンした当会館は当時では珍しい三角のビルで、働きだしたばかりの私は、通勤車中から毎日眺めていた。

若さのエネルギーの象徴「太陽＝SUN」と人々が集う「ひろば＝PLAZA」が結びつき「SUNPLAZA」という愛称になったそうだ。当時は中央線の線路寄りに団地が並んでいたの、建物が途切れた少し奥にいきなり不似合いな大きくどっしりとした建物が電車から見えた。今となれば「消えゆく昭和の名建築」と思える。

開業当時は、特別な日に広場にあった中野サンプラザのシンボル「ファイアボール」に火が入るので、わざわざ見に行ったりしていた。研修室・会議室・宴会場・ホテル・チャペル・レストラン・スポーツ施設そしてサンプラザホールは2222席の大ホールだった。50年間にどれだけの歌手・アーティストの公演が行われたのだろうか。

独立行政法人雇用・能力開発機構が所有し、財団法人勤労者福祉振興財団が運営していましたが、2004年に民営化されて今日まで中野駅前に君臨していた。閉館は寂しい限り。当機構は12年前から当該施設で「理事会」「総会」「セミナー」「FPU懇談会」「職員募集の面接」などで利用させてもらっていた。とにかく会議

室あるいは宴会場・レストランからの景色が良い建物で、新宿高層ビル群を望む夜景はそれこそ美しく、いつまでも眺めていられた。

12年の歴史で理事会・総会、セミナーの開催は殆どお任せなくらい心得てくださっていたので、当方としても安心して利用していた。当該会館の閉館で新しく諸会議開催のための場所を探し、また一から出直しである。新しく美しい建物はたくさんできているが、交通の便、必要な備品の有無、居心地の良い場所かどうか、費用の問題等、利用してみなければわからない事も多いので、定位置が決まるまで少し時間がかかるかも知れず、2ヶ月に一度開催する理事会役員にはご迷惑をおかけする事になる。

中野サンプラザは7月2日に閉館し、50年の歴史に幕を閉じるが、一帯の再整備に伴って中野サンプラザは解体、同じ場所に最大7,000人規模の大ホールとホテルからなる「NAKANOサンプラザ」が建設される。オープンは2029年の予定だそうだ。新施設を楽しみに待つことにしたい。



“お世話になりました!!”

事務局 木村





## 地上デジタル放送の高度化(4K・8K)に向けた電波発射について

一般社団法人放送サービス高度化推進協会（A-PAB）では、地上デジタル放送の高度化に向けて、実験試験局での実証実験を継続してまいります。

2022 年度に計画しておりました実証実験は、会員の皆様のご理解とご協力を賜り、すべて計画通りに行うことができました。改めて厚くお礼申し上げます。

2023 年度は、東京・名古屋・三重地区において、地上テレビ放送の高度化に向けた実証実験のための電波発射を計画しております。

引き続き、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

2023 年 7 月以降の電波発射スケジュールの詳細は、調整中ですが日程が決まり次第改めてご連絡いたします。

### < 2023 年 7 月以降のスケジュール >

地 区	電波発射スケジュール[注 1]	TV チャンネル	備 考
東京 [注 2]	7 月上旬～下旬 (スケジュール調整中)	UHF28ch	8 月以降も電波発射予定
名古屋 (東山)	9 月中旬～下旬 (スケジュール調整中)	UHF35ch	10 月以降も電波発射予定
名古屋 (鍋田)	7 月上旬～下旬 (スケジュール調整中)	UHF25, 35ch	8 月以降も電波発射予定
三重 (津)	7 月上旬～下旬 (スケジュール調整中)	UHF25ch	8 月以降も電波発射予定
三重 (伊勢)	7 月上旬～下旬 (スケジュール調整中)	UHF25, 35ch	8 月以降も電波発射予定

[注 1] 電波発射時間は、原則として土日祝を除く平日の 10 時～ 18 時となります。

[注 2] 東京地区の UHF28ch は、テレビホワイトスペースの割当がないため、特定ラジオマイクの運用調整は発生いたしません。

この電波発射に伴い、日時、場所によって特定ラジオマイクの運用調整が必要となる場合があります。日程が決まりましたら、当該免許人様と個別にスケジュール確認および運用調整をさせていただきます。その際はご協力よろしくお願い致します。ご不明な点がございましたら、当機構までお問い合わせ下さい。

また、「地デジ高度化実験受信対策センター」ホームページでは、電波発射スケジュールや特定ラジオマイクとの運用調整について随時情報を更新しておりますのでご確認くださいませよう、よろしくお願い致します。

<https://www.tvkoudoka.jp/>

併せて、当機構ホームページでも「地デジ 4 K ・ 8 K 実験試験局情報」で特定ラジオマイクに関連する情報をダイレクトにお伝えしておりますのでご活用ください。

<https://www.radiomic.org/>

会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

**特定ラジオマイク運用調整機構 事務局**

# ⚠️ 重要なお知らせ ⚠️

## 移動会員の皆様へ 特定ラジオマイクはご使用になる度に 『運用連絡票』の提出が必要です！

移動会員は特定ラジオマイクを使用する度に、使用日時・場所・運用周波数帯・局数等を明記した『運用連絡票』を特ラ機構事務局へ“事前”に提出する必要があります。

事務局では提出された『運用連絡票』を基に「運用調整についてのお願い」をお送りしますので、周辺で運用されている他会員・放送局との運用調整をお願い致します。

※「移動会員」とは、特定ラジオマイクを移動させて、さまざまな施設などへ持ち込んで使用する会員です。

※ホールや劇場など施設内で固定して特定ラジオマイクを運用している「固定会員」は、運用調整システムに 24 時間 365 日登録済みとなっておりますので、『運用連絡票』の提出は不要です。

- 『運用連絡票』は当機構 Web サイトからダウンロードをお願いします。  
特ラ機構 Web サイト <https://www.radiomic.org/>

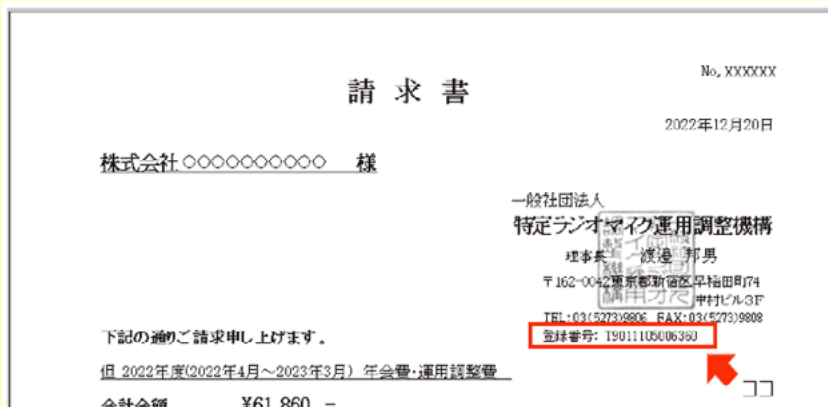
## 適格請求書発行事業者番号のお知らせ

2023 年 10 月 1 日よりインボイス制度が導入されることに伴い、適格請求書発行事業者登録番号の登録を完了いたしました（2022 年 10 月 31 日付）。

経理・会計部門で必要となる番号ですので、ご担当者様へお知らせください。

当機構事業者登録番号 : T 9 0 1 1 1 0 5 0 0 6 3 6 0

当機構発行の請求書にも、下記の通り印字をしておりますので併せてお知らせいたします。



会計担当：松崎

## 事務局便り



### ■再免許状をお届け致しました

令和5年5月31日に有効期限を迎え、事務局扱いでマイクの免許更新手続きをして頂いた新免許状は、5月下旬に当機構事務局から当該会員のご担当者宛てに送付させて頂きました。お手元の新しい免許状につきまして、記載内容を必ずご確認ください。新免許状の記載内容にご不明な点等がありましたら、事務局免許担当の石川または渡辺（きよたか）までご連絡下さい。

### ■令和5年度特定ラジオマイク運用調整機構関係費用のご請求

令和5年度当機構関係費用（年会費・運用調整費）の請求書を、全会員に発送させて頂きました。内容をご確認のうえ、お振込みを宜しくお願い致します。

納入期限は令和4年10月31日です。繰越未納金（滞納金）がある会員は、早めのお振込みをお願いします。

### ■予算書の送付について

自治体、公共団体等の予算編成の時期がやってまいります。関係会員には令和5年度に必要な機構関係費用を「予算書」として7月中旬頃までに送付する予定です。

「予算書」は次年度に特ラ機構から請求させて頂く予定の金額を前もってお知らせするものであり、今年度（令和5年度）の金額ではありませんのでご注意ください。

免許の有効期限が令和7年5月31日のマイクを保有している場合、令和6年度中（令和6年12月～令和7年2月末日）に再免許申請が必要ですので、再免許関係費用も予算書に併記計算してお送りします。

## 編集後記

6月9日(金)に中野サンプラザにて、当機構の令和5年通常総会が開催されました。

足元のお悪い中、足を運んでくださった皆様、本当にありがとうございました。

今年はコロナで中止されていた懇親会を久しぶりに開催することができ、ご出席された皆様の楽しそうな様子がとても印象的でした♪

(松崎)

